令和２年度版

実務経験従事証明書

（高圧室内作業主任者免許、ガス溶接作業主任者免許、発破技士免許、林業架線作業主任者免許用）

１　証明を受けようとする者

フリガナ		住所	〒（　　－　　）
氏　　名			
生年月日	年　　月　　日生		電話　　（　　）

２　証明する事項

【高圧室内作業主任者免許関係】

☐　高圧室内業務に２年以上従事した経験

【発破技士免許関係】

☐　発破の補助作業の業務に６か月以上従事した経験

【林業架線作業主任者免許関係】

☐　林業架線作業の業務に３年以上従事した経験

【ガス溶接作業主任者免許関係】

☐　ガス溶接技能講習を修了後、ガス溶接等の業務に３年以上従事した経験

☐　学校教育法による大学又は高等専門学校において、工学又は化学に関する学科を専攻して卒業後、１年以上ガス溶接等の業務に従事した経験

☐　普通職業訓練（金属加工系溶接科）、養成訓練（溶接科）を修了後、２年以上ガス溶接等の業務に従事した経験

☐　鉄工、建築板金、工場板金又は配管の１級又は２級の技能検定に合格後、１年以上ガス溶接等の業務に従事した経験

☐　旧保安技術職員の規則による溶接係員試験に合格後、１年以上ガス溶接等の業務に従事した経験

☐　専修訓練課程の普通職業訓練、専修訓練課程の養成訓練（溶接科）を修了後、３年以上ガス溶接等の業務に従事した経験

☐　長期課程の指導員訓練を修了後、１年以上ガス溶接等の業務に従事した経験

☐　防衛大学校を卒業後、１年以上ガス溶接等の業務に従事した経験

上記の業務に従事した期間

年　　月　　日　から　　年　　月　　日　まで

年　　か月　（必要年数を下回っていないか十分ご注意ください。）

３　事業者による証明

上記１の者は上記２の経験を有することについて相違ないことを証明します。

年　　月　　日

事 業 場 所 在 地

事　業　場　名　称

電話　　（　　）

事業者職名・氏名

備考

事業場の倒産等により事業者による証明が不可能である場合には、実務に従事していた事業場（以下、「元の事業場」という。）の同僚であった者（以下、「証明者」という。）による証明をもって事業者証明に代えることができます。ただしこの場合にあっては、証明者の数は原則２名とし、様式中「事業場所在地」は「元の事業場所在地」、「事業場名称」は「元の事業場名称」、「事業者職名・氏名」は「証明者の現住所、連絡先（勤務先）電話番号、氏名」と読み替え、それぞれの証明者について本人確認証明書の添付が必要です。